

# 「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 2 年 7 月 1 日

事業名称		飼い主のいない猫対策事業費 [飼い主のいない猫不妊去勢手術助成事業]						
予算科目	款 4	衛生費	項 1	保健衛生費	目 2	予防費	事業番号 3	
事業の種別	<input type="checkbox"/> 市単独 <input checked="" type="checkbox"/> 補助対象 <input type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)							
担当部署・課長名	環境 課		環境公害 係		課長名	下村 和郎		
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。					施策番号	2 - 1		
【施策名】 保健・医療の充実					総合計画書(ページ)	47		
この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。			① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)				
	市内に生息する飼い主のいない猫			→ 市内に生息する飼い主のいない猫頭数				
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]			② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)				
	不妊去勢手術の助成を行うことにより、飼い主のいない猫の増加を防ぐ			→ 不妊去勢手術をした飼い主のいない猫の頭数				
この仕事の目的	③ そのために何をしましたか。			③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)				
	飼い主のいない猫の不妊去勢手術費の助成助成制度の周知			→ 助成頭数				
指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標	
				平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標
	対象指標	①の数値	頭	不明	不明	不明		
	成果指標	②の数値	頭	108	92	113		
	目標	②の目標値						
目標値設定の考え方								
※手術を必要とする飼い主のいない猫の頭数が把握できないため設定が困難である。								
活動指標	③の数値	頭	不妊 65 去勢 43	不妊 47 去勢 45	不妊 61 去勢 52			
3 経費	事業費(実績)		円	508,998	709,768	654,680	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,310,000 円 時間単価は、4,300 円 で計算してください。 【算出根拠】平成30年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)	
	財源	一般財源	円	184,922	355,768	188,519		
		特定財源	円	324,076	354,000	466,161		
		(うち受益者負担)	円	0	0	0		
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.2	0.2	0.2		
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0		
		職員人件費(再任用以外)	円	1,650,600	1,648,800	1,662,000		
職員人件費(再任用)	円	0	0	0				
事業費+人件費		円	2,159,598	2,358,568	2,316,680			
4 環境変化等	(1) 開始年度		平成15年度					
	(2) 環境の変化		猫の不妊・去勢に対しては、平成19年度から東京都の医療保険政策区市町村包括補助事業(飼い主のいない猫対策補助率1/2)の対象事業となった。平成29年度から助成対象を飼い主のいない猫に限定し、助成額を増額した。平成31年度からは、去勢手術の助成額を5,000円に増額した。					

事業名称	飼い主のいない猫対策事業費 [飼い主のいない猫不妊去勢手術助成事業]			
担当部署・課長名	環境	課	環境公害	係 課長名 下村 和郎

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成31年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について			
	ボランティアで飼い主のいない猫の不妊去勢手術を実施している人がいるが、補助額が満額ではないことが負担になっている。また、手術するために猫を捕獲して動物病院へ運搬しなくてはならないが、ボランティアの人で車を持っている人が少なく、運搬方法の対応に苦慮しているようだ。手術前後のエサやりやトイレ掃除中に地域猫活動を知らない一般市民から怒鳴られることがあるようだ。市民への周知が課題である。			
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。(複数回答可)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組んだ	取組手法：⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換(広報媒体：市報・ホームページ)		
	<input type="checkbox"/> 取り組まない	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換(広報媒体： ) ⑦後援・場の提供 ⑧その他( )		
(2)令和2年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点				
7 課題	(1)平成31年度に課題とした内容(「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題(3))を転記) 地域猫活動ボランティアが市内で活動しやすいように支援する必要がある。			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成31年度に実施したこと。 飼い主のいない猫対策として、飼い主のいない猫関連セミナーを開催したり、他市のセミナーへ参加し情報収集に努めた。また、地域猫活動ボランティアとの連携の方法について検討を進めた。			
	(3)(2)を踏まえた今後の課題(仕事の最適化・合理化の提案)			
	現在、個々に活動している地域猫活動ボランティアが、連携して活動し、より市民に受け入れられやすいように支援する必要がある。			
8 施策貢献状況 (この仕事は、総合計画(基本計画)に掲げる課題の解決手段になっているか。)				
施策名：保健・医療の充実				
<input checked="" type="checkbox"/> なっている <input type="checkbox"/> 環境の変化等により成果が減少している <input type="checkbox"/> 類似の事業が他にあり改善の余地がある(事業名： )				
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性(「7 課題(3)」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など)			
	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止			
	【取組内容】 ・地域猫活動についての周知(市報、ホームページ、セミナーの開催など) ・地域猫活動ボランティアの募集			
(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等				
迷惑なエサやりの人と市推奨の地域猫活動ボランティアの人の区別ができるように、腕章やボランティア手帳など身分表示できるものの用意する必要がある。				